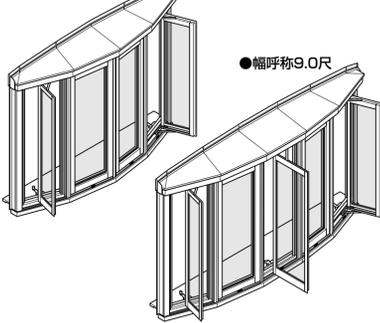


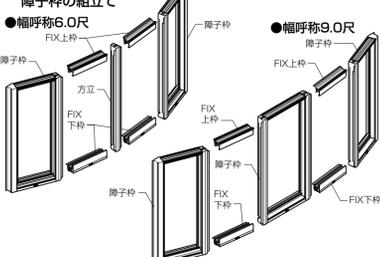
■窓図

●幅呼称6.0R

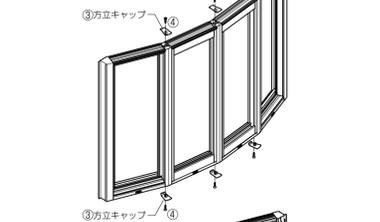


■組立て手順

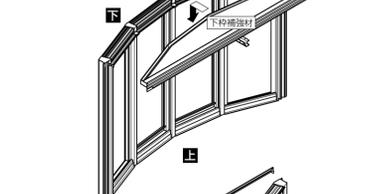
1 FIX上・下枠と障子枠の組立て



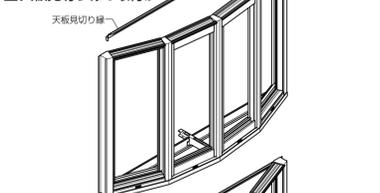
2 方立キャップの取付け



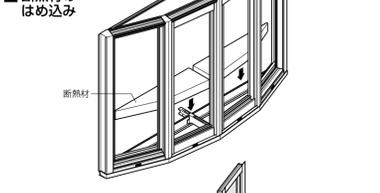
3 下枠補強材の取付け



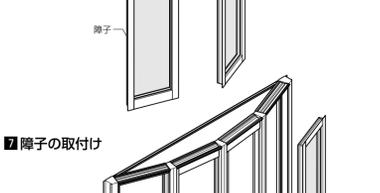
4 天板見切り線の取付け



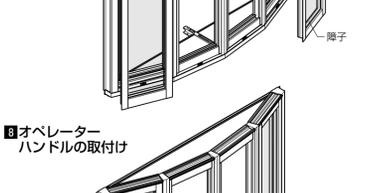
5 断熱材のはめ込み



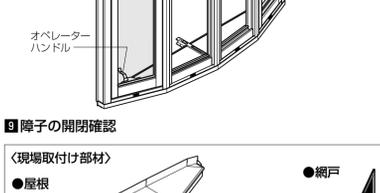
6 障子の組立て



7 障子の取付け



8 オペレーターハンドルの取付け



9 障子の開閉確認



■組み立てられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。
▲注意 → 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負う危険および物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載されていますので必ずお読みください。

▲注意

- 組立て後の重量は最大95kg(屋根を含めると110kg)になります。運搬は対応する人数で行ってください。思わぬけがをすることがあります。
- 取付け状態で障子の開閉等をしてください。障子が落下するおそれがあります。
- 漏水の原因になるおそれがあるため、下記事項を厳守してください。
- 組立て時はコーキングシーラーが下枠のまわりにはみ出すように合わせてください。

■組立て上のお願い

- 本製品は、本体・屋根・障子・下枠補強材で構成され、それぞれ別梱包となっています。
- テーブル板は色・形状を選定するため、別売りとなっています。
- テーブル板と屋根の内側に雨がからないようにしてください。製品に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- 必ず下枠補強材を組み立ててから運搬してください。枠が変形するおそれがあります。
- ねじは2.5±0.5N・m(25±5kgf・cm)のトルクで止めた後、ゆるみ・がたつきのないことを確認してください。

■組立て部品一覧表

※下表の番号は本文図中の番号を示します。確認のうえ使用してください。

●本体組立て用

番号	①	②	③	④	⑤
名称	ジョイント板(上)	ジョイント板(下)	方立キャップ	φ4×12 皿タップねじ	φ4×16 トラスタップねじ
窓図					
使用箇所	障子枠-FIX上枠 方立-FIX上枠	障子枠-FIX下枠 方立-FIX下枠	方立	方立キャップ	下枠補強材-下枠
表示	表示なし	表示なし	表示なし	表示なし	組立用

●障子組立て用

番号	⑥	⑦	⑧	⑨
名称	φ8プッシュボタン	φ4×25 ナベタップねじ	M4×10皿ねじ	M4×10 トラスねじ
窓図				
表示	表示なし	表示なし	表示なし	表示なし

■組立て詳細図

※図中の番号は、組立て部品一覧表の番号を示します。確認のうえ使用してください。

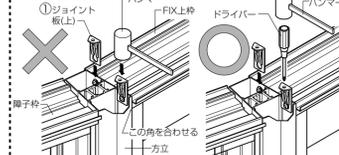
1 FIX上・下枠と障子枠の組立て

●障子枠・方立にFIX上枠を合わせてジョイント板(上)をハンマー等で最後まで打ち込みます。
 ●同様に、FIX下枠・ジョイント板(下)を取り付けます。
 ※押縁取付フィンをつぶさないでください。

2 下枠補強材の取付け

※ジョイント板が打ち込みにくい場合は、ドライバーを当て確実に打ち込んでください。屋根・方立キャップが取り付けられなくなります。
 ※ジョイント板は外側から先に打ち込んでください。内側から打ち込むと天板見切り線が取り付けられなくなります。
 ※枠を上下に反転させる時は、FIX上・下枠が変形しないよう注意してください。特に幅呼称9.0Rの場合は、中央の障子枠を押さえながら反転してください。

(A)部矢視図



2 方立キャップの取付け

※ねじはあまり締めすぎないようにしてください。
 ●方立キャップを方立の上部・下部に取り付けます。



3 下枠補強材の取付け

●下枠補強材から断熱材を取り出します。
 ●出窓本体の下枠に下枠補強材を当て、下枠の加工穴に合わせてねじ止めします。



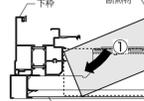
4 天板見切り線の取付け

●天板見切り線両端の部品を、縦枠の切欠き差し込みます。



5 断熱材のはめ込み

●5で取り出した断熱材を下枠補強材へ押し込みます。



3 障子の組立て

(1) グレイジングチャンネルの取付け

●ガラス厚に合ったグレイジングチャンネル(別売り)を用意し、ガラス4周に廻します。
 ※コーナー部はグレイジングチャンネルをくい込ませないでください。
 ●ガラス室内側の4隅のカット部及びジョイント部に、ガラスコーナーシール(別売り)を張ります。
 ※高断熱・高気密住宅の場合、必ず実施してください。

(2) 障子の組立て

●ガラスコーナーシールを室内側に、左右縦枠に差し込みます。
 ※縦枠の上下残用の切欠き部にガラスが12mm出るようにしてください。(C部詳細図)
 ●上下残を差し込み、縦枠とねじで仮止めします。
 ※障子組立て後に保管する場合は、障子フィンに重量がかからないよう木等を当ててください。
 障子フィン
木又はスチロール

■グレイジングチャンネルの使い分け

種類	ガラス厚18-20mm用	ガラス厚21-22mm用			
ガラス厚	18mm	19mm	20mm	21mm	22mm
グレイジングチャンネル					



7 障子の取付け

●障子に付いているアームを引き出し、90°に広げます。
 ●上アームを障子つり込みビス(上)に引っかけます。(I図)
 ●下アームを障子つり込みビス(下)に向けてスライドさせます。(II図)
 ●アームの長穴部(上下各3カ所)を枠に仮止めします。(⑨ねじ使用)
 ●障子を45°くらいまで閉め、皿穴部から枠に固定します。(⑧ねじを使用)
 ●⑨ねじを締め付けます。
 ※障子つり込みビスは、障子つり込みを補助するためのものです。ここだけを固定した状態で障子の開閉等、アームが動くような力がかからないでください。ただちに本固定用のねじで止めてください。

▲注意

仮止め状態で障子の開閉等をしてください。障子が落下するおそれがあります。

■I図

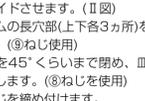


■II図



3 断熱材のはめ込み

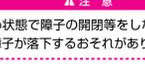
●5で取り出した断熱材を下枠補強材へ押し込みます。



▲注意

仮止め状態で障子の開閉等をしてください。障子が落下するおそれがあります。

■I図



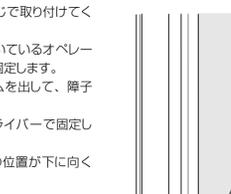
■II図



8 オペレーターハンドルの取付け

※オペレーターハンドルに同梱のねじで取り付けください。
 ●オペレーターケースを、下枠に付いているオペレーター取付け裏板に合わせてねじで固定します。
 ●オペレーターハンドルを回しアームを出して、障子の連結アームにねじで固定します。
 ●オペレーターハンドルを別梱のドライバーで固定します。
 ※障子を閉じた時、左右のハンドルの位置が下に向くようねじをしめてください。

9 オペレーター取付け位置



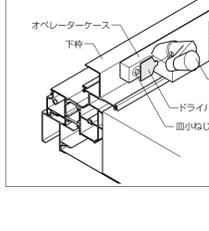
3 障子の開閉確認

●オペレーターハンドルを回して障子がスムーズに開閉するかどうか確認します。
 ●サブロックが障子縦枠のサブロック受けクレセントに引っかかるかどうか確認します。
 ※引っかからない場合は、下記要領で調整してください。
 【上下前後方向】
 ●サブロックのねじをゆるめて調整します。
 【障子見込み方向】
 ●サブロック受けクレセント

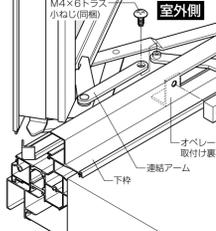
■D部詳細図



■現場取付け部品



■オペレーター取付け位置



■D部詳細図

